



## 創立100周年記念 特別演奏会シリーズ

文化芸術振興費補助金(芸術創造活動特別推進事業)

主催:財団法人東京フィルハーモニー交響楽団

協賛: SONY

東京フィルの音楽に  
ヨーロッパの魂を吹き込んだ  
初代常任指揮者グルリットの遺心  
**第一回**  
定期演奏会  
プログラム  
を再現

2011年**3月18日**(金)  
開演19:00(開場18:30)  
サントリーホール

指揮:尾高 忠明

ソプラノ:高橋 薫子\* ピアノ:三船 優子\*

**モーツァルト**  
交響曲第41番 ハ長調  
「ジュピター」K.551

・歌曲「ラウラに寄せる夕べの思い」K.523\*  
・歌曲「すみれ」K.476\*  
・歌曲「子守歌」K.350\*

**チャイコフスキー**

・歌曲「おお、その歌を歌ってくれ」作品16-4\*  
・歌曲「語るな、おおわが友」作品6-2\*  
・歌曲「ただあこがれを知る人だけが」作品6-6\*

**交響曲第6番 口短調**  
「悲愴」作品74



尾高 忠明



高橋 薫子



三船 優子



高橋 淳



佐々木 典子



加納 悦子



吉田 浩之



妻屋 秀和

一九一一年、東京フィルと  
時を同じくして生まれた  
二十世紀最大の作品  
**グレの歌**  
オリジナル編成  
オーケストラ約150人  
合唱約120人・独唱5人

2011年**3月20日**(日)  
開演15:00(開場14:30)  
Bunkamuraオーチャードホール

指揮:尾高 忠明

ヴァルデマール王(テノール):高橋 淳  
トーヴェ(ソプラノ):佐々木 典子  
山鳩(アルト):加納 悦子  
道化師クラウス(テノール):吉田 浩之  
農夫(バス)ノ語り:妻屋 秀和  
合唱 新国立劇場合唱団  
合唱指揮:三澤 洋史

**シェーンベルク**  
「グレの歌」(1911年作曲)

助成:財団法人アフィニス文化財団  
公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団  
公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション

協力: Bunkamura

ロームミュージックファンデーションは、日本のプロオーケストラの活動を支援しています。このコンサート及びコンサートの演奏曲目によるCDの発行を助成しています。

料金 <3/18> S¥6,000 A¥5,000 B¥4,000 C¥3,000 <3/20> S¥7,500 A¥6,000 B¥4,500 C¥3,000

発売日 一般:2011/1/12(水) 定期会員最優先:1/7(金) フレンズ優先:1/11(火)

【チケットのお申込み・お問合せ】東京フィルチケットサービス

電話 **03-5353-9522** 平日 10時~18時

PC <http://www.tpo.or.jp>

携帯



# 東京フィルハーモニー交響楽団 創立100周年記念 特別演奏会シリーズ

東京フィルハーモニー交響楽団が創立100周年を迎え、それを記念して2つの特別演奏会を開催する。

東京フィルの起源は名古屋のいとう呉服店(現松坂屋)の少年音楽隊。発足したのは1911年3月18日である。ちょうど100年の誕生日に開催される特別演奏会シリーズIでは1940年から東京フィル(当時は中央交響楽団と呼ばれていた)の常任指揮者をつとめたマンフレート・グルリットが指揮した第1回定期演奏会(1940年1月29日)のプログラムがそのまま再現される。ユダヤ系ドイツ人のグルリットは、ナチス・ドイツの支配を避け日本を活躍の場としていた。作曲家として活躍するとともに、指揮者としても高い能力を持っていたグルリットは揺籃期の東京フィルに大きな足跡を残した。

第1回定期演奏会のプログラムには、モーツァルトの交響曲第41番「ジュピター」とチャイコフスキーの交響曲第6番「悲愴」が選ばれ、その間にはつなぎの曲目としてモーツァルトとチャイコフスキーの歌曲が演奏された。5か月にもわたる練習によって、グルリットは徹底的にヨーロッパの音楽を叩き込み、第1回定期に臨んだという。メインの2曲は幅広く演奏されている名曲だが、東京フィルの音楽の出発点ともなったこの演奏会の再現は100年の歴史の大きな節目を振り返るうえで大きな意味を持つ。第1回定期では歌曲のソリストを四谷文子がつとめたが、今回は四谷に師事した五十嵐喜芳の流れを汲む藤原歌劇団の高橋薫子が受け持つ。

3月20日の特別演奏会シリーズIIでは、シェーンベルクの大作「グレの歌」が取り上げられる。音楽史上、稀にみる大規模な編成をもつ作品で、第1ヴァイオリン、第2ヴァイオリン各20などという指定がなされている。このオリジナル編成を単独のオーケストラで実現できるのは、日本では東京フィルのみ。声楽にも5人の独唱者に加えて3組ないし4組の男声4部合唱、混声8部合唱を要する。こうした大編成の作品だけに生演奏に接する機会はきわめて少ない。

この作品において、シェーンベルクはデンマークのヴァルデマール一世を主人公とした伝説にこの上なく雄弁な音楽をつけている。ロマン的な音楽はこの作曲家の初期の作風を典型的に示したもので、マーラーやリヒャルト・シュトラウスの影響を色濃く漂わせている。作曲に着手したのは1900年だが、中断をはさみ、オーケストレーションが完成をみたのは1911年。それは東京フィルが発足した年にあたる。

2つの演奏会を指揮するのは東京フィルの桂冠指揮者尾高忠明。1974年から91年まで常任指揮者をつとめ、その発展に大きな貢献を果たした東京フィルを語る上で忘れることができないマエストロである。

なお、特別演奏会シリーズに先立つ1月の定期演奏会では、桂冠指揮者大野和士が自ら望月京に依頼した創立100周年記念委嘱作品「むすび」が初演される。こちらも記念の年の幕開けにふさわしい演奏会になることだろう。

音楽評論家／岡本 稔

## 創立100周年記念委嘱作品

指揮：大野 和士 ヴァイオリン：竹澤 恭子\*

♪望月 京／むすび(新作・世界初演) 他  
(東京フィルハーモニー交響楽団100周年記念委嘱作品)

第59回東京オペラシティ定期シリーズ

2011年1月13日(木) 開演19:00(開場18:30) 東京オペラシティ コンサートホール

第796回サントリー定期シリーズ

2011年1月14日(金) 開演19:00(開場18:30) サントリーホール

第797回オーチャード定期演奏会

2011年1月16日(日) 開演15:00(開場14:30) Bunkamuraオーチャードホール\*

S¥7,500 A¥6,000 B¥4,500 チケット発売中



料金 3/18公演 S¥6,000 A¥5,000 B¥4,000 C¥3,000  
3/20公演 S¥7,500 A¥6,000 B¥4,500 C¥3,000

発売日

一般：2011/1/12(水) 定期会員最優先：1/7(金) フレズ優先：1/11(火)

公演のお問合わせ・チケットのお申込み

●東京フィルチケットサービス

電話 03-5353-9522 (平日10時~18時)

PC http://www.tpo.or.jp

携帯



### その他のプレイガイド

- サントリーホールチケットセンター 03-3584-9999 (3/18公演) ●Bunkamuraチケットセンター 03-3477-9999 (3/20公演)
- 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 ●東京芸術劇場チケットサービス 03-5985-1707
- チケットぴあ(Pコード 3/18公演:127-037 3/20公演:127-038) 0570-02-9999 http://t.pia.co.jp
- 楽天チケット http://ticket.rakuten.co.jp ●イープラス http://eplus.jp
- ローソンチケット 0570-000-407 (オペレーター・Lコード 3/18公演:35117 3/20公演:35118) http://l-tike.com

(お願い)・演奏中及び楽章間の入退場はお断りしております。・やむを得ない事情により、出演者・演奏曲目・曲順などが変更されることがあります。・ご予約後のキャンセルはお受けできません。・公演中止の場合を除き、ご入金後の払戻しはいたしませんので、ご了承ください。・未就学児のご入場はお断りしております。